万博TDMって何?

交通混雑を緩和する取組です!

万博TDMの必要性

万博開催期間中は多くの来場者が見込まれており、時期によっては、一部の鉄道や道路で交通混雑の発生が想定され、企業活動や日常生活へ影響を与える可能性がありました。そこで、在宅勤務や移動時間・ルートの変更など「交通需要の調整」を行うことにより、交通混雑緩和へのご協力の呼びかけを実施しました。



ミャクミャク

TDMとは、交通需要マネジメント (Transportation Demand Management) の略で鉄道や道路利用者による交通発生源の調整や時間・ルートの変更など、交通行動の変更を促して、発生交通量の抑制や集中の平準化など、「交通需要の調整」を行うことにより、交通混雑を緩和していく取組をいいます。

万博開催期間中の混雑予測時期

| 月会場混雑 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|--------------------------|----|----|----|----|----|----|-----|
| 非常に混雑 約20万人/日以上 | | | | | | | |
| 混 雑 約14万人/日 以上 | | | | | | | |

混雑する時期

6月1日 ~ 6月30日 8月18日~9月30日

非常に混雑する時期

10月1日~10月13日

何を?

混雑区間(鉄道・道路)での交通混雑回避の行動







道路

平日午前中の

阪神高速道路池田線、東大阪線
湾岸舞洲出口〜会場までの一般道路

TDMの取組例

移動量・配送量を削減

万博会場が混雑する期間に、会場周辺等で、 移動量等を削減する取組により、 鉄道や道路での交通混雑を緩和











など

混雑する時間帯・ 時期を回避

万博会場が混雑する期間や来退場の ピーク時間帯を避けた取組により、 鉄道や道路での交通混雑を緩和











など

交通混雑を避けた 場所・ルートへ変更

Osaka Metro中央線や阪神高速道路等の 混雑区間を避けた取組により、 鉄道や道路での交通混雑を緩和







など